

# 令和6年度 第2回静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会 次 第

日 時：令和7年3月21日（金）  
19：15～20：30

会 場：静岡市役所 9階 特別会議室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 題

- (1) 令和6年度認知症初期集中支援チーム現任者研修の報告について 資料1
- (2) 支援対象の報告について 資料2
- (3) 令和6年度認知症初期集中支援チームの実績について 資料3
- (4) 静岡市認知症初期集中支援チーム活動マニュアルの様式について 資料4

4 閉 会

## 【配付資料】

- 資料1 令和6年度認知症初期集中支援チーム現任者研修の報告
- 資料2 支援対象の報告について
- 資料3 令和6年度認知症初期集中支援チームの実績
- 資料4 静岡市認知症初期集中支援チーム活動マニュアルの様式について

令和6度 第2回 静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会名簿

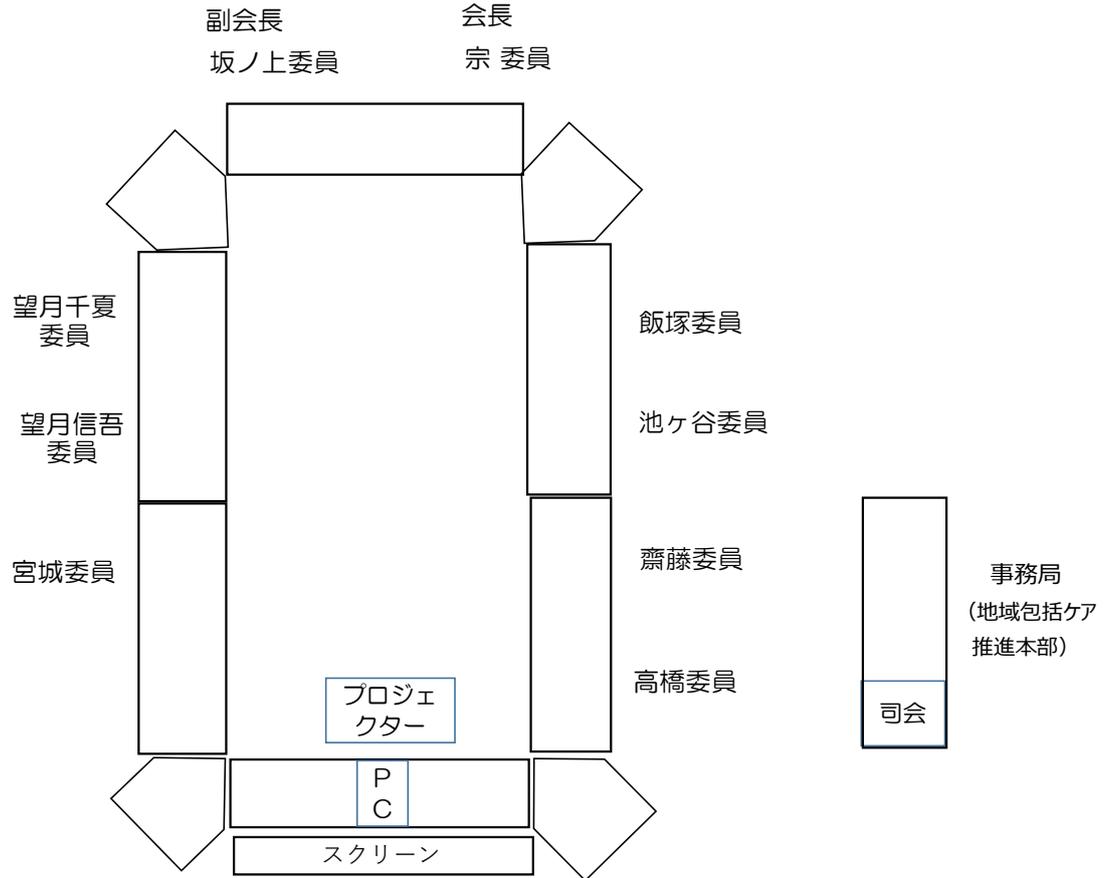
(五十音順・敬称略)

	所 属	氏 名 (敬称略)	出席予定
1	一般社団法人静岡県介護福祉士会	飯塚 哲男	来場
2	静岡市民生委員児童委員協議会	池ヶ谷 恵子	来場
3	一般社団法人静岡市静岡歯科医師会	下村 洋介	欠席
4	公益社団法人 静岡県看護協会	齋藤 千紘	来場
5	一般社団法人静岡市静岡医師会	坂ノ上 政綱	来場
6	一般社団法人静岡市清水医師会	宗 幹之	来場
7	市民委員	高橋 和江	来場
8	一般社団法人静岡市ケアマネット協会	不破 敬史	オンライン
9	清水薬剤師会	宮城 規秋	来場
10	静岡県精神保健福祉士協会	望月 信吾	来場
11	市民委員	望月 千夏	来場
12	市民委員	森藤 あゆみ	オンライン

令和6年度 第2回静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会座席表

令和7年3月21日（金）19:15～20:30

会場：静岡市役所 9階 特別会議室



森藤委員 不破委員

【オンライン出席者】

出入口

## 令和 6 年度認知症初期集中支援チーム現任者研修実施の報告

開催日 令和 6 年 12 月 25 日 (水)

開催場所 駿河区役所 大会議室

参加包括 28 包括 29 人

研修内容 ・認知症初期集中支援チームの経緯について  
・認知症初期集中支援チームの活動について  
・グループ演習「事例から考えよう」

事例概要説明 (国の研修の事例を使用)

個人作業・グループワーク

(チーム員として事例のアセスメントを考える、認知症初期集中支援  
チームの活動についての話し合い)

## 【研修についてのアンケート結果の抜粋】

本研修を受講して、認知症初期集中支援チーム員活動についての理解を深めることはできましたか？

深めることができた ≪ 5 ・ 4 ・ 3 ・ 2 ・ 1 ≫ 全く深まらなかった

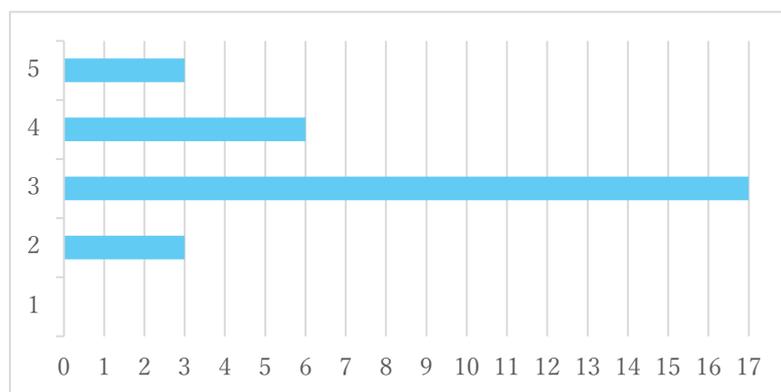
5: 3件(10%)

4: 6件(21%)

3: 17件(59%)

2: 3件(10%)

1: 0件



「本研修を受講して、認知症初期集中支援チーム員活動についての理解を深めることはできましたか？」について 5 段階評価で 3 : 17 件 (59%) が一番多く、次に 4 : 6 件 (21%) となっている。

本研修をとおして、認知症初期集中支援チーム員活動をする具体的なイメージができましたか？

イメージできた ≪ 5・4・3・2・1 ≫ 全くイメージできなかった

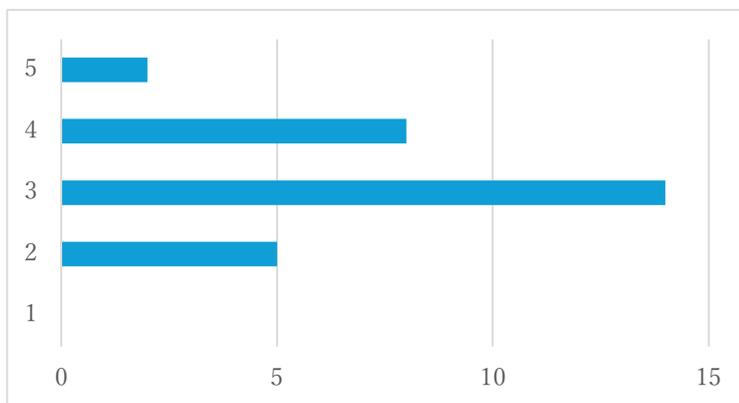
5: 2件(7%)

4: 8件(28%)

3:14件(48%)

2: 5件(17%)

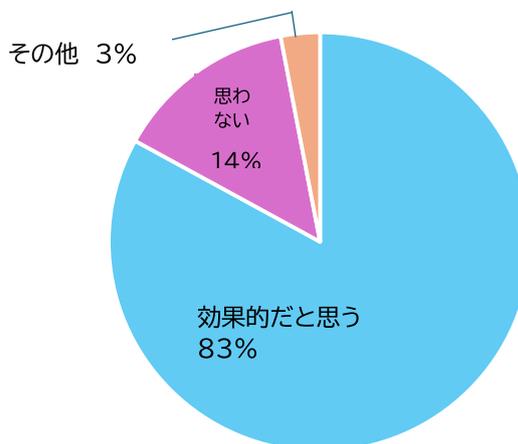
1: 0件



「本研修をとおして、認知症初期集中支援チーム員活動をする具体的なイメージができましたか？」について5段階評価で「3：14件（48%）」が一番多く、「4：8件（28%）」となっている。

研修方法のグループワークは効果的だと思いますか？

1. 効果的だと思う 24 (83%)
2. 効果的だと思わない 4件 (14%)
3. その他 1件 (3%)



「研修方法のグループワークは効果的だと思いますか？」について、「効果的だと思う」が24件（83%）と一番多く、効果的だと思わないが4件（14%）となっている。

### 【研修の意見】

研修の意見として「初期集中支援事業を行っていくことが大切だと感じた」、「制度の有効活用ができるよう日々の業務の中でも意識していきたい」との意見があった。

一方、「全体的な動きや書類の書き方等、ロールプレイの映像で表現してもらえると全体的なイメージがしやすい」、「初期集中支援チームとしての関り方の実感がグループワークを通してわからない」、「今回の事例では初期集中支援チームを利用するイメージができなかった」とのチーム活動をする具体的なイメージができないという意見があった。

### 【今後の対応】

アンケートの結果からグループワークは有効な方法であると感じていることがうかがえる。

認知症初期集中の活動が具体的にイメージできる研修内容にするために、包括に意見を聞きながら研修内容を検討していく。

## 支援対象の報告について

### 1 ヒアリングの実施から支援対象の調査の経過について

認知症初期集中支援チーム活動は、以前から活動件数が少ないことが課題になっており、今年度から各区1チームずつチーム活動を経験してもらおうという方針だったが、担当の地域包括支援センターのチーム活動がほとんどないため、担当の包括へヒアリングを実施した。

ヒアリングの結果から、今まで初期集中支援チームで活動がないため、初期集中支援チームで活動するケースを挙げることに苦慮していることがわかった。

ヒアリングの結果から、様式1のシートを利用しても認知症初期集中に上がるケースがないということが把握できたため、全包括の状況も知る必要があると考え、訪問支援対象者チェックシートで支援対象となったが初期集中支援チームで活動しなかった人の人数と、その理由の傾向を調査することにした。

## 2 「支援対象」となったが「初期集中支援チームで活動しなかった」人数について

地域包括支援センターへ令和6年11月、12月に支援対象だったが初期集中で対応しなかった人数を報告してもらった。

・訪問支援対象者チェックシートで「支援対象」となったが、初期集中支援チームの対象としなかった人数

11月 47人

12月 42人

・対象としなかった人がいた地域包括支援センター

11月 14包括

12月 10包括

対象としなかった主な理由 (1～4：選択記載、5：自由記載)		11月 人数	12月 人数
1	医療機関への繋ぎ、介護保険サービス暫定利用の検討等で緊急性が高いから（虐待対応等）。	4	2
2	介護申請、事業所紹介等、専門性が低く、チームでアプローチする必要がないから（総合相談対象）。	25	24
3	地域包括支援センターは初期集中が必要と判断したが、家族から初期集中の希望がなかったため。	1	2
4	認知症サポート医へ依頼することへの遠慮があり、チームで対応する体制ができていないから。	0	0
5	その他の理由（自由記載）	17	14
合計		47	42

対象としなかったその他の理由（11月）（自由記載）	人数
・家族介護で対応できているため	1
・すぐに家族が対応し、医療に結びついたため。	1
・CM支援で対応できているため	1
・しずメールの希望のみだったため	1
・入院中であり、退院後からサービス利用予定のため。	1
・地域包括支援センターが関わり始めたばかり。本人や家族の意向や生活実態を確認しながら、今後必要な支援に繋いでいくため。	2
・ケアマネに繋がっているがサービスの利用無し。妻が近々退院予定で、妻に介護サービスが入る予定。	1
・総合相談で対応中	2
・本人が介入を拒否している。総合相談で対応。	1
・ご本人の訪問に対する拒否が強いため。家族の同意を得るのが難しいため。	1
・サービス利用しており、認知症への対応に家族が必要性感じていない。	1
・家族関係が複雑でキーパーソン確認に時間がかかっている。	1
・対応困難で専門性が高いケースではあるが、初期集中支援チームの時間と支援内容から必要制を感じず依頼していない。また家族に有用なものとして提案できない。	2

対象としなかったその他の理由(12月)（自由記載）	人数
・同居の配偶者にケアマネがついており何かあれば対応してくれる為。	1
・家族が受診など動いてくれている。返事待ちの状況。	1
・家族はショートステイを希望。本人も希望し利用開始するが、すぐに帰りたいとなり調整が難しい。	1
・本人・家族の同意をとるのが難しい。	4
・施設入所待ちでロングショート利用中のため。	1
・ロングショート利用中で自宅に帰らない生活のため。	1
・家族は認知症の症状に困っているが、土地の売買の件等もあり、家族が、本人が認知症と診断されることは望まないため、対応に困っている。	1

対象としなかったその他の理由(12月) (自由記載)	人数
・医療に繋がっている、家族の希望が地域の見守りで様子を見たい。	1
・CM 支援で対応した	1
・医療に繋がっており、認知症か精査中。	1

### 3 アンケートの結果

介護申請、事業所紹介等、専門性が低く、チームでアプローチする必要がないから（総合相談対象）が 25 人で一番多かった。

また、その他の理由として「家族介護で対応できているため」「CM 支援で対応できているため」との意見があった。

一方「ご本人の訪問に対する拒否が強いため。家族の同意を得るのが難しいため。」  
「対応困難で専門性が高いケースではあるが、初期集中支援チームの手間と支援内容から必要制を感じず依頼していない。また家族に有用なものとして提案できない。」との困難ケースではあるが、支援対象にしないケースがあるとの意見があった。

### 4 今後について

認知症初期集中支援チーム活動の件数が少ないのは、困難事例のほとんどが総合相談で対応できているためであり、地域包括支援センターのケース対応能力が高いためであるが、認知症初期集中支援チーム活動がどの包括でも実施できるようにしておく必要があるため、今後も包括の意見を聞きながら活動がしやすくなる支援を継続する必要があると考える。

## 令和 6 年度認知症初期集中支援チームの実績

## 【包括チーム活動の実績】

チーム	圏域	対象 実数 (件)	訪問 (回)	1人に対する 平均訪問回数 (回)	初回訪問 までの 平均 日数 (日)	引継 ぎ・支 援終了 した 対象実 数 (件)	引継ぎ (終結) までの 平均 日数 (日)	モニタリ ング 延べ数 (回)	チーム員 会議開催 回数 (回)	チーム員 会議に 参加した 医師 延べ数 (人)	
包括 チーム	大里高松	1	26	26	37	1	196	0	6	2	
	岡船越	※チーム員会議の結果、総合相談で対応								1	
	小鹿豊田	※チーム員会議の結果、総合相談で対応								1	
疾患 チーム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

## 【チーム員活動（大里高松）の内容について】

日付	対応	内容
令和 6 年 4 月	相談受付	親族より相談を受付
	電話相談、調整等	回数：2回 関係各所との電話連絡等
	チーム員会議	回数：1回 内容：支援対象として決定
	対象者訪問	回数：1回 様子確認
令和 6 年 5 月	電話相談、調整等	回数：2回 関係各所との電話連絡等
	対象者訪問	回数：3回 様子確認、自宅内の様子を確認等
令和 6 年 6 月	電話相談、調整等	回数：7回 関係各所との電話連絡等
	対象者訪問	回数：2回 様子確認等
	チーム員会議	回数：2回 内容：支援計画内容の検討等
令和 6 年 7 月	チーム員会議	回数：1回 内容：目標達成状況の確認
	対象者訪問	回数：14回 内服確認等
	電話相談、調整等	回数：18回 関係各所との電話連絡等
令和 6 年 8 月	対象者訪問	回数：3回 様子確認等
	電話相談、調整等	回数：10回 関係各所との電話連絡等
令和 6 年 9 月	対象者訪問	回数：1回 サービス利用等の意向確認
	電話相談、調整等	回数：4回 関係各所との電話連絡等
令和 6 年 10 月	チーム員会議	回数：1回 内容：目標達成状況の確認

	対象者訪問	回数：2回 様子確認・初期集中終了可否の確認
	電話相談、調整等	回数：5回 関係各所との電話連絡等
令和6年11月	電話相談、調整等	回数：5回 関係各所との電話連絡等
令和6年12月	チーム員会議	回数：1回 内容：支援終了決定
	引継ぎ・支援終了	引継ぎ先：介護サービス事業所
	電話相談、調整等	回数：2回 関係各所との電話連絡等

【疾患センターチームの実績】

日付	対応	内容
令和6年4月	チーム員会議参加	回数：1回（大里高松包括）
	電話相談	回数：1回（大里高松包括）
令和6年6月	チーム員会議参加	回数：1回（大里高松包括）
	電話相談	回数：1回（大里高松包括）
令和6年8月	チーム員会議参加	回数：1回（岡船越包括）
	電話相談	回数：2回 （小鹿豊田包括、岡船越包括）
令和6年9月	チーム員会議参加	回数：1回（小鹿豊田包括）
令和6年12月	チーム員会議参加	回数：1回（大里高松包括）

## 静岡市認知症初期集中支援チーム活動マニュアルの様式について

### 【改訂箇所①】

#### 様式1 訪問支援対象者チェックシート

### 【改訂内容】

支援対象者を決定する前に「支援対象候補者」を入れることにより、「支援対象候補者」から「支援対象者」か「支援対象外」になるのか決定にいたる経過が分かりやすくなるようにした。

### 【改定箇所②】

#### 認知症初期集中支援チーム支援対象案件一覧

### 【改定内容】

「受付年月日」、「初回訪問年月日」、「終了年月日」、「モニタリング終了年月日」の記入欄を追加した。